



〒364-0003 北本市古市場 1-36
TEL/FAX 048-591-5762
携帯 090-8848-8465
メール tatsumi3@gmail.com

1965年北本生まれ。
北本市立中丸小学校、北本市立東中学校、埼玉県立不動岡高等学校、東洋大学経済学部卒業。
三国コカ・コーラボトリング入社。その後、経営コンサルティング会社、投資顧問会社勤務。
衆議院議員公設秘書を経て2011年より北本市議会議員。現在2期目。

北本を消滅させない

安心・安全なまちづくり
財政の健全化
行政改革の推進

4月26日に行われた統一地方選挙後初めてとなる臨時会ならびに平成27年第2回定例会が終了しました。

6月議会は、新市長体制となって初めての定例会ということもあり、一般質問では、市長の施政方針に注目が集まりました。私も北本市の財政計画に関して市長に質問しました。北本市が市民の皆様にとって安心・安全で住み続けたいと思えるまちとなるよう、これからも多角的な視点から質問・要望を続けます。

●所属会派・常任委員会・一部事務組合が決定しました

会派

『会派みらい』

会派に縛られた旧来型の議会活動ではなく、個々の意志を尊重する民主的な会派を立ち上げました。

所属議員・・・5名

大嶋達巳、渡邊良太
高橋伸治、三宮幸雄
北原正勝

常任委員会

『保健福祉常任委員会』

福祉、介護、子育て、保健年金、健康づくりなど、市民生活に密着した事項に取り組みます。

一部事務組合

『埼玉県央広域事務組合』

北本市、鴻巣市、桶川市の3市により構成され、斎場、消防業務を行う一部事務組合です。

●監査委員に選任されました

市長より「監査委員」に選任する旨の議案が提出され、全会一致で選任されました。

監査委員として、市民のみなさまが納めた税金が有効に使われているか、市の事業が効果的に行われているか、検証してまいります。

そして、必要に応じて検討、改善を求め、監査委員としての職責を果たすよう取り組んでまいります。

6月定例会（6/8～6/24）トピックス

○「教育長の任命について」

教育委員会制度の改正に伴う教育長の任命が議案となりました。今までは、首長は教育委員を任命していましたが、法改正により首長が直接教育長を任命することとなり、任命責任が明確になりました。また、教育委員長と教育長が一体化され、新「教育長」となったことから、教育長の責任と権限も重くなりました。教育の課題について、迅速な対応が期待されています。

○「地名地番整備の経過と概要について」

地名地番整備については、大字北本宿、大字下

石戸上、大字下石戸下の地域を、緑3丁目、4丁目、下石戸1丁目、5丁目、6丁目、7丁目とする地名地番整備を行います。平成28年8月1日に実施を予定しています。

○「セーフコミュニティ再認証を目指さない市長発言について」

セーフコミュニティ再認証にかかる費用と労力を勘案し、市長としては再認証を目指さないとの発言がありました。2月に認証されたばかりで成果の検証も行われておらず、性急な判断だと思えます。今後、議会としてもセーフコミュニティのあり方を検討していきます。

大島たつみの一般質問より（抜粋）

1. 財政計画について

問 将来に向けた財政運営を明確にするためにも、総合振興計画の中に、財政計画を策定すべきだと思うが。

答 （市長）現段階において財政計画は策定していないが、平成28年度予算編成を通じて中期の財政計画を示し、次年度以降に北本市総合振興計画との整合性を確保しながら、財政計画を策定したいと考えている。

事業を行うためには、お金（財政）の裏付けが必要です。いままでは、翌年度の計画しかありませんでした。これからは、中長期的にお金（財政）の動きを把握できるようにし、健全な財政運営が行われているか、しっかりと見ていきます。

2. 道路の安全性について

問 宮内氷川神社付近の市道について、通学中の児童の安全を考え、水路に蓋をかけてはどうか。

答 水路は、雨水を受ける機能、管理の面から蓋をかけない管理が望ましい。今後通学路として危険であると判断され、道路の幅が困難な場合に交通安全策を検討したうえで対応を検討したい。

問 通学路や砂利道の舗装など、市長が政策集で掲げた人にやさしい道路整備を、どのように進めるつもりなのか。

答 （市長）通学路については、子どもが安全に通学できる環境を一刻も早く改善しなければならない。限られた財源の中で、どうやって予算を捻出するか、厳しいが見直しを行っている。財源

が見つかれば早急に対応したい。



『たっちゃん応援隊』
隊員レポート

本会議の傍聴に行きました！

傍聴席は連日大盛況。新市長体制が始動し、多くの市民が市政に関心を持っていることを強く感じました。私としては「セーフコミュニティ」再認証についての市長の答弁と今後の北本市の対応が気になるところです。

大島議員は、住民の声から現地調査し検証したことを一般質問の中で取り上げました。もっと多くの声が市政へ届きますように。

砂利道については、高齢者が外に出ていけない、転んでケガをすれば医療費が増大するといった問題があるので、早く舗装すべきであり、急いで対応を考えていきたい。

子どもや高齢者に対する道路整備について、市長は前向きに考えています。ただし、先立つものがなければ整備もできません。ここで、財政計画が意味を持ってきます。必要な事業に必要な予算を確保するためにも、中長期的な財政運営が重要になってきます。

また、中丸小周辺でも通学路点検の結果、まだ危険個所がいくつもありますので、改善が図れるよう取り組みたいと思います。

3. 小型無人機（ドローン）の規制について

問 北本市の規制はどうなっているか。

答 住宅や多くの人がいるところに落下した場合は危険な小型無人機（ドローン）だが、現在のところ飛行情報、苦情等は来ていない。規制も行っていないが、今後は一定の規制は必要ではないかと考えている。事故防止を優先し公園、お祭り、イベント等での飛行について、国や県などの状況を注視しながら対応を検討していきたい。

小型無人機（ドローン）は、空の産業革命とも言われ、農薬散布や人が行けない場所での空撮、離島への物資の配達、災害時の利用など成長が見込まれています。安心、安全は守られなければなりません。一律に禁止することなく、共存共栄を目指したいところです。

あとがき

平成27年第3回定例会は、8月27日（木）から9月18日（金）の予定です。

今後は、7月は決算審査（監査委員）、8月は会津坂下町との姉妹都市交流などが予定されています。

皆様のご意見・ご相談などお寄せいただけましたら幸いです。

